

「ICT未来都市」  
2017年12月13日

# 『Beyond 2020 Tokyo』 への取組み

富士通株式会社  
執行役員常務

廣野 充俊

# 1. Beyond 2020 Tokyo



国際スポーツ  
イベント



インバウンド  
4,000万人



高齢化社会  
への対応

IoT



Big Data



AI



### 3. 観光立国日本への対応

2015年世界の観光収入

**140兆円 (4.4%増)**

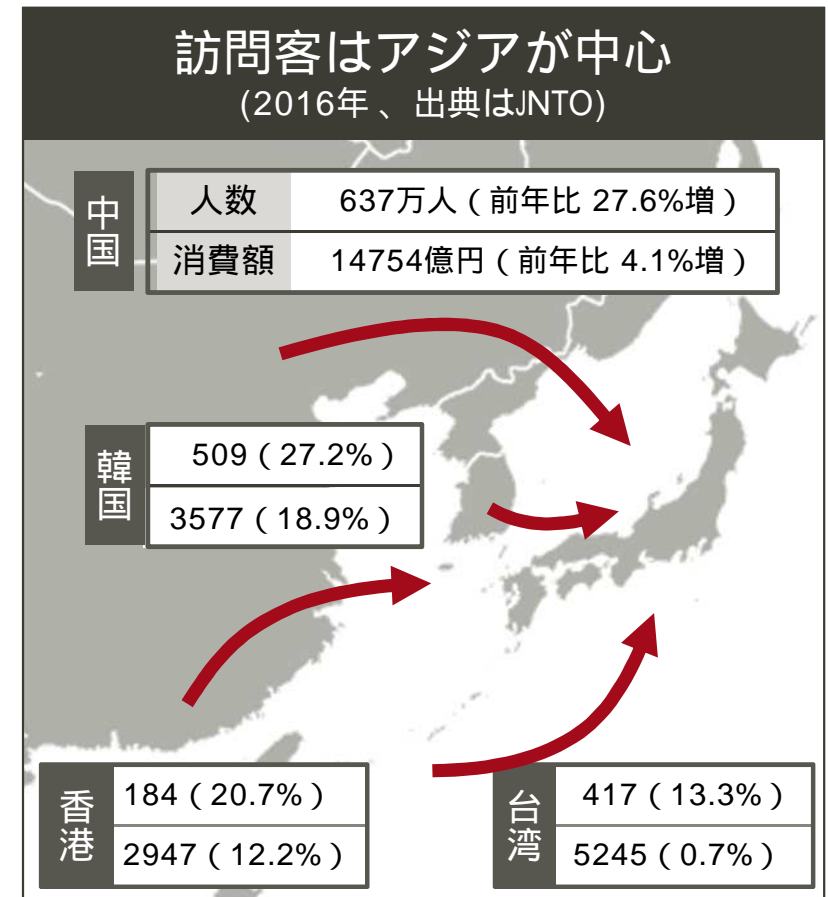
内、中国人 32.5兆円 (26.2%増)

2015年度日本への訪日外国人人数

**1973万人 (伸率47.1%)**

2016年度日本への訪日外国人人数

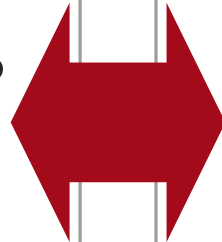
**2404万人 (伸率 21.8%)**



# 「観光立国」への期待と課題

## 「観光立国」への期待

- 世界的な成長産業
- 伸長率が高い
- 国の関与による成果が期待できる
  - ビザの要件緩和
  - 免税範囲の拡大
  - 空港・港湾の整備
  - 訪日プロモーション



## 外国人旅行者が不便と感じること

- 多言語対応の改善・強化
- 無料公衆無線LAN環境の整備
- 外国人旅行者向け消費税  
免税制度拡充

# 4. ICTの活用による未来都市の実現

次世代交通システム

都市の見える化



おもてなし

多言語翻訳



高臨場映像

デジタルサイネージ  
パブリックビューイング



水素社会

エネルギー管理



AI

ビッグデータ・オープンデータ

IoT

センサー



通信  
(電波等)



カメラ



気象データ  
(温度等)



GPS



SNS



# SPATIOWL × 東京俯瞰図



# 多言語翻訳 ~ Livetalk

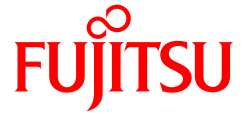


- 音声認識・翻訳エンジンによる多言語(19言語)のリアルタイム翻訳
- 様々な言語間でのリアルタイムなコミュニケーションが実現可能



# スポーツIoT

## 3Dセンシングによる体操採点サポート

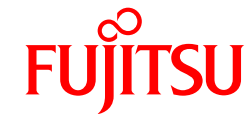




# 日本体操協会様との共同研究



# バスケットボール Bリーグ2018年1月14日オールスター戦 におけるパブリックビューイングの取り組み



## ■ 熊本会場で行われる試合を東京・恵比寿でライブ体験



選手のプレーの動きに連動する  
音と映像の拡張技術による、  
試合会場を超える高臨場感



4K大画面映像と3Dサウンドを  
活用したスポーツと音楽の融合に  
よるライブの高揚感



熊本と東京で、離れたプレーヤー  
とファン同士が双方向につながる  
新たな一体感

# 新橋SL広場のデジタルサイネージ

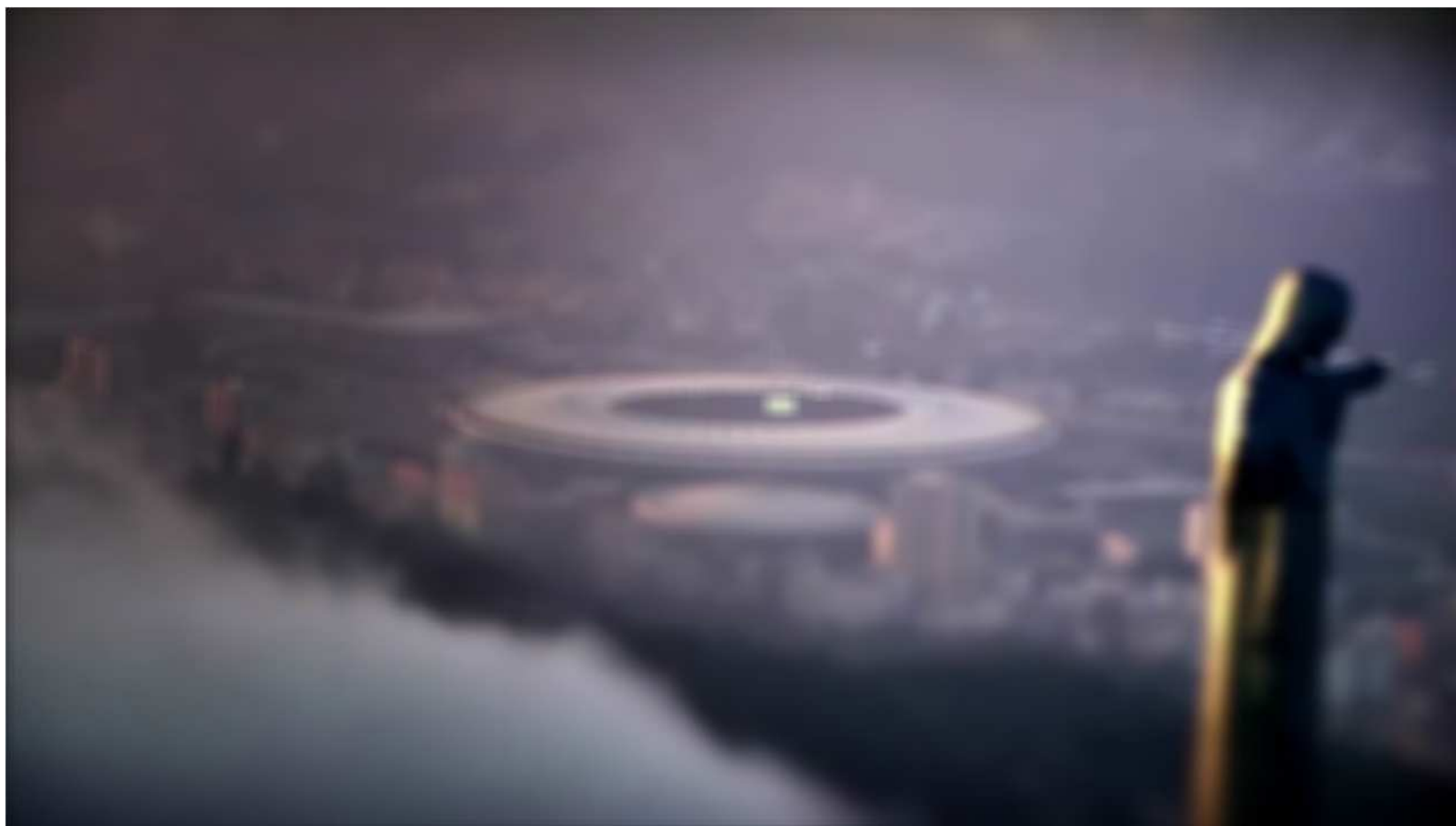


- 東京2020パラリンピック1000日前、新橋SL広場で富士通のデジタルサイネージが点灯
- 企業CMの放映、スポーツ・文化に関連する情報の充実など、コンテンツ拡充
- パブリックビューイングやスマートフォンと連携したサービスなどの実証実験実施



# 障がい者スポーツ リオ大会パラリンピック映像

FUJITSU



# 5. ダイバーシティ・高齢化社会への対応 経済界協議会

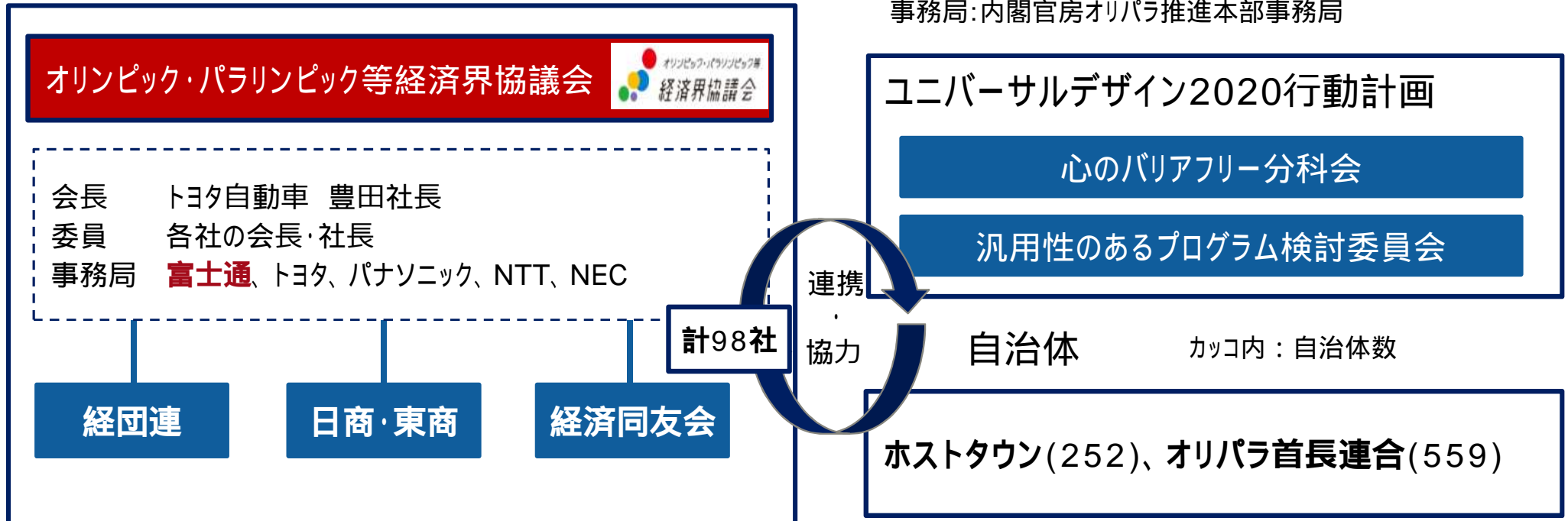


- 経済界が一丸となって、東京2020大会に向けたムーブメントと、その後に残るレガシーづくりを推進

## 経済界

## ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議

事務局:内閣官房オリパラ推進本部事務局



# TOKYO2020大会聖火リレー



## ■ オリンピック聖火リレー

- 2020年3月にスタートし、47都道府県を1つの経路で100日をかけて巡る予定

## ■ パラリンピック聖火リレー

- 2020年8月イギリスと国内の複数都市での採火、最低7日間実施

### 【日程概要】

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| ・ 2020年4月頃       | ギリシャ・オリンピアでの採火式          |
| ・ 2020年4月頃~7月24日 | オリンピック聖火リレー              |
| ・ 2020年8月        | イギリス・ストークマンデビルと日本国内での採火式 |
| ・ 2020年8月~8月25日  | パラリンピック聖火リレー             |

# TOKYO2020大会のボランティア活動



- 9万人のボランティアが活動。2018年8月から募集開始
- 東京以外の17会場の都市ボランティアは、各自治体が随時募集

	大会ボランティア	都市ボランティア
運営主体	組織委員会	東京都
活動内容	各会場での大会運営のサポート	観光・交通案内
募集人数	8万人	1万人
応募要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修への参加(最低2日)</li> <li>・大会期間中(10日間以上)連続した活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修への参加</li> <li>・期間中5日間以上連続した活動</li> </ul>
人員構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポンサー企業枠 1.8万人</li> <li>・一般公募 6.2万人</li> <li>(内訳) 若者 2.8万人</li> <li>一般 2.2万人</li> <li>シニア 1.2万人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般公募</li> </ul>

# マイナンバーカード活用（ボランティア）



- マイナンバーカードの活用に向けて、大規模スポーツイベントでの実証実験を実施。 おもてなしクラウドを活用

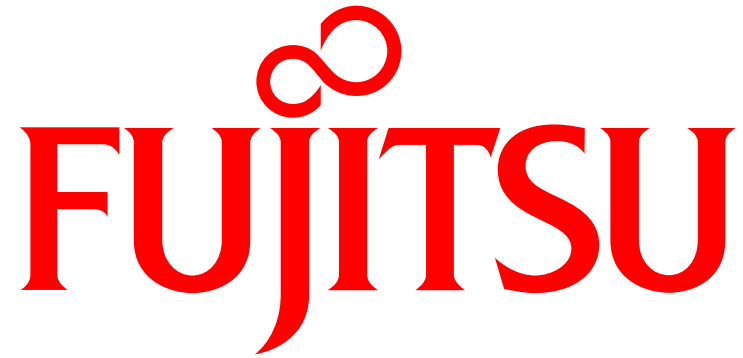


TOKYO2020を始めとする  
大規模スポーツでの活用

ボランティア業務での  
活用

・ 11月4日~5日に開催された  
「ITUトライアスロンワールドカップ（2017/宮崎）」  
にてマイナンバーカードを活用したボランティア  
業務効率化の実証実験を実施





shaping tomorrow with you